

環境技研通信



株式会社 環境技研 〒370-3511 群馬県高崎市金古町 1709-1 TEL 027-372-5111 営業部発行

第 27 巻第 2 号(通巻 134 号)

3 月号 2025 年 3 月 1 日

～環境技研ホームページリニューアルしました！！～

令和 7 年 1 月 31 日付より環境技研ホームページ(以下、HP)を全面的にリニューアルいたしました。弊社は、設立以来長年にわたり環境に携わる分析・調査、製品や異物・障害解析等に取り組んできました。12 年前には薬事法に基づく試験検査機関として GMP に関わる各種の原料試験、製剤試験を受託する医薬分析を始めました。多岐にわたる分野の試験・調査に皆さまのご支援の下、今日までお役立てできたこと、この場を借りて感謝申し上げます。

HP は皆さまにとって使いやすく、見やすい内容であること、シンプルかつ快適にご覧いただけることを重視してデザイン・レイアウト・ページ構成を見直し刷新いたしました。また、「環境、医薬、製品・異物分析」の 3 本の分析事業をテーマに分類し、それぞれのサービス内容をまとめております。旧 HP と比較し、サービス情報の整理・統一性、弊社の施設・設備の紹介、採用サイトのコンテンツの拡充を行い、弊社をより深く知ってもらえる HP に仕上げました。

これまで以上に、皆さまに寄り添ったサービス提供ができるように HP の随時更新を行って参りますので、今後とも環境技研をよろしくお願い致します。

右下 URL、もしくは(株)環境技研で検索してください。



<https://www.get-c.co.jp/>

「大気汚染防止法施行規則等の一部を改正する省令」について

令和 5 年 4 月に水銀規制に係る大気汚染防止法の改正から 5 年を迎えたことから、中央環境審議会において、法の施行状況や社会情勢等を踏まえた今後の水銀大気排出対策について検討・審議が行われました。これに基づき、環境省は令和 7 年 2 月 17 日に水銀等の大気中への排出を規制する内容の一部を改正する省令を公布しました。



本改正では、水銀排出施設の内、一般廃棄物焼却施設と非鉄金属製造施設について、連続測定法を導入できることとし、それに伴う記録及び保存義務の規定、銅、鉛又は亜鉛の二次精錬施設等に係る排出基準の見直し(表参照)及び石炭ガス化複合発電施設(IGCC)の排出基準の新たな設定が行われました。この改正は令和 7 年 10 月 1 日から施行される予定です。

表. 水銀発生施設における排出基準(抜粋)

大気汚染防止法 水銀排出施設		排出基準(現行) ($\mu\text{g}/\text{Nm}^3$)		排出基準(見直し) ($\mu\text{g}/\text{Nm}^3$)	
		新規	既設	新規	既設
一次 施設	銅又は工業金	15	30	15	30
	鉛又は亜鉛	30	50	30	50
二次 施設	銅	100	400	50	300
	鉛又は亜鉛			50	400
	工業金	30	50	30	50

「工作物石綿事前調査者」を知っていますか？

令和8年1月1日以降着工の工事から、「工作物」の解体等の作業を行うときは、工作物石綿事前調査者による事前調査を行う必要があります。それ以前着工の工事についても、有資格者による事前調査を行うことが望ましいとされています。

事前調査には資格が必要です。
詳しくはお問い合わせください。



「石綿事前調査」とは

事業者は、建築物・工作物又は鋼製の船舶の解体又は改修(封じ込め又は囲い込みを含む。)の作業を行うときは、石綿による労働者の健康障害を防止するため、あらかじめ、当該建築物・工作物又は船舶について、石綿等の使用の有無を調査するのが石綿事前調査です。



「工作物」とは

建築物以外のものであって、土地、建築物又は工作物に設置されているもの又は設置されていたものの全てをいい、例えば、煙突、サイロ、鉄骨架構、上下水道管等の地下埋設物、化学プラント等、建築物内に設置されたボイラー、非常用発電設備、エレベーター、エスカレーター等又は製造若しくは発電等に関連する反応槽、貯蔵設備、発電設備、焼却設備等及びこれらの間を接続する配管等の設備等があります。

2025年持込フィットテスト 開催日程が決定しました

弊社を会場とした、持込みフィットテストを毎月1回の日程で開催しています。

- ・実施方法: JIST8150「定量的フィットテスト」
- ・会場: 株式会社環境技研
群馬県高崎市金古町 1709-1

- ・料金: 11,000円(税込) / 1測定
- ※ご利用になられる面体形マスクをご持参いただきます。お申し込みはHPをご覧ください。
(担当: 営業課 茂木・松村)

～2025年 年間実施予定日～

3月25日(火)、4月22日(火)
5月27日(火)、6月24日(火)
7月22日(火)、8月26日(火)
9月30日(火)、10月28日(火)
11月25日(火)、12月16日(火)

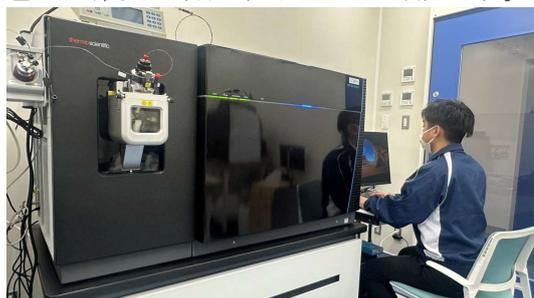


新規分析機器続々導入！

弊社では、バイオ医薬品やバイオシミラー(バイオ後続品)分析への取り組みを始めました。ここでは新たに導入した分析機器を紹介します！

Orbitrap Eclipse トライブリッド質量分析計

プロテオミクス、タンパク質の特性解析、低分子分析で使用するために開発された、液体クロマトグラフ質量分析装置です。3種類のアナライザー(四重極、リニアイオントラップ、Orbitrap)を搭載し、これらが連携して働くことでパフォーマンスが大幅に向上しました。多数の微量タンパク質を高速かつ確実に特定することが可能です。



CAD 搭載 HPLC

コロナ荷電化粒子検出器(CAD)を搭載した高速液体クロマトグラフィーです。この検出器は、UV吸収を持たない成分でも揮発成分以外ならほとんどが検出可能という特徴をもちます。また、物質の質量に依存して一貫した応答が得られることも大きな特徴です。同じ濃度であれば異なる構造であっても一定の応答が得られることから、標準物質がない物質でも半定量が可能となります。医薬製薬分野のほか、食品や研究開発、品質保証においても幅広く用途のある装置です。

その他、**ナノフロー LC**(低流量専用液体クロマトグラフ)、**Q-TOF LC/MS**(四重極-飛行時間型液体クロマトグラフ質量分析計)なども導入済みです。ラボ見学も実施しておりますので、興味をお持ちの方は是非ともお問い合わせください。

電話対応の音声案内についてのご案内

この度弊社代表電話を自動音声案内に変更しました。
ご不便をおかけしますが、何卒ご理解の程宜しくお願い申し上げます。

★測定・分析のご依頼、見積のご依頼に関するお問い合わせは	1番
★ご依頼中の案件の納期、報告書、請求書、納品書に関するお問い合わせは	2番
★物品などの購買取引に関するお問い合わせは	3番
★その他のお問い合わせは	4番

〒370-3511 群馬県高崎市金古町 1709-1

TEL 027-372-5111 FAX 027-372-5001

URL <https://www.get-c.co.jp>

E-mail 本社 info@get-c.co.jp